



コンクリートの高圧CO₂ガス暴露試験

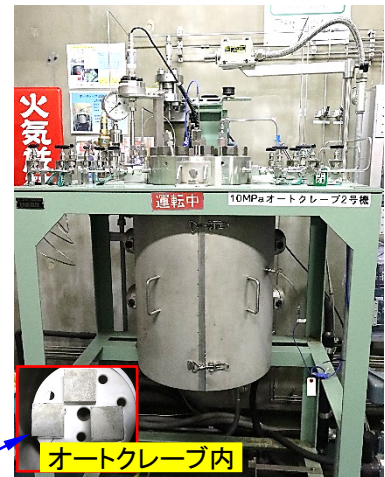
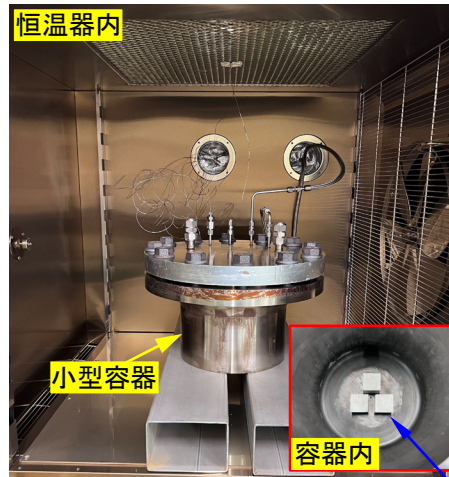
CO₂環境下での素材変化を確認する高圧CO₂暴露試験をご提供いたします。

背景

CO₂を資源として活用するため、さまざまな研究開発が進められています。その注力分野のひとつがコンクリート・セメントです。当社はオートクレーブ試験装置を活用して、高温・高圧、湿潤環境での暴露試験を実施できます。

試験装置の外観および仕様

小型圧力容器/オートクレーブによる暴露試験装置の外観と仕様を示します。



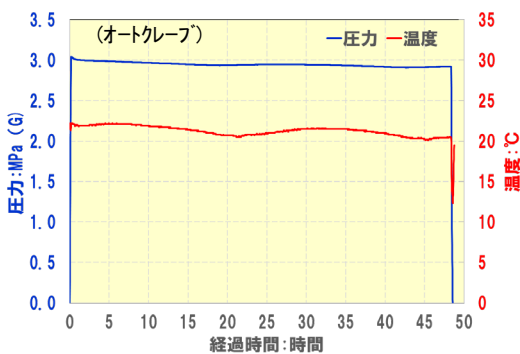
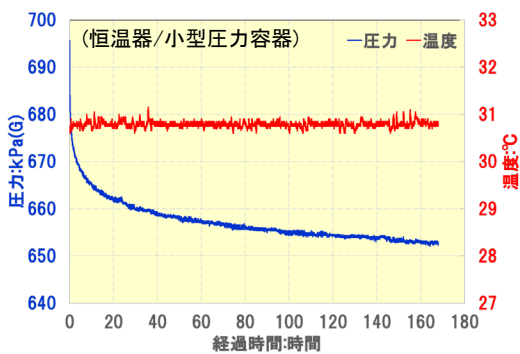
暴露試験装置(恒温器/小型圧力容器)
 ・温度:MAX.300℃ ・圧力:1MPa未満
 ・容器サイズ:Φ259mm×高さ185mm

コンクリートサンプル

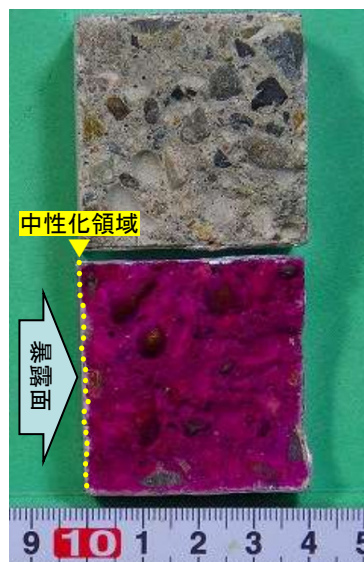
暴露試験装置(オートクレーブ)
 ・温度:MAX.232℃ ・圧力:10MPa未満
 ・容器サイズ:Φ180mm×高さ450mm

実施事例

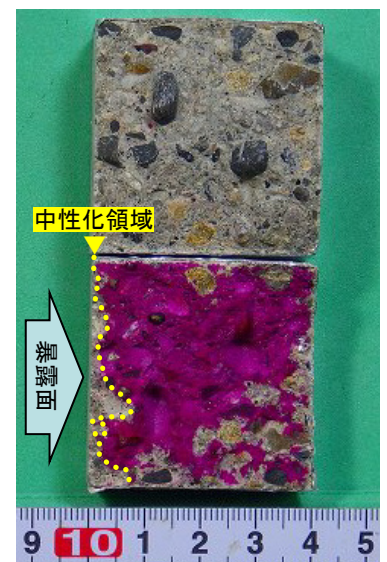
<高圧CO₂暴露試験例>



<中性化深さ測定例> : JIS A 1152「コンクリートの中性化深さの測定方法」による



ブランク(中性化深さ測定結果)
 ・平均中性化深さ:0.4mm
 ・最大中性化深さ:1.0mm



CO₂ 3MPa×48hr(中性化深さ測定結果)
 ・平均中性化深さ:2.2mm
 ・最大中性化深さ:8.0mm



JFE テクノリサーチ 株式会社

<https://www.jfe-tec.co.jp>

0120-643-777

Copyright ©2024 JFE Techno-Research Corporation. All Rights Reserved.
 本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい。